

山と花のたより 84号

2009年4月1日 松尾忠

メールアドレス tadashi6414@smile.ocn.ne.jp

今、二上山に咲いている花々



上 クサイチゴ



上 ナガバモミジイチゴ



上ウグイスカグラ



上アオキの雄花



上ヤマザクラ



上ニワトコ



下ミヤコアオイ

左シハイスミレ

下チャルメルソウ



下スズシロソウ





上 ミツバツチグリ



左センボンヤリ春花 ミツバツツジやモチツツジも咲き始めている
(ムラサキタンポポ)



花の山々と大規模ダム

2007年8月3日夕刻、私は岩手県胆沢町（当時）の国道397号線を西に向かって走っていた。花の山として名高い焼石岳に登るためだ。車が奥羽山脈の山並みに走りこんで間もなく、突然荒涼たる光景に出遭った。広範な山々がめくられ、むき出しになった山肌が延々と続いているのだ。「何だ！これは」山奥だけに無残な姿は衝撃的だった。胸が痛んだ。

あれが胆沢ダム工事現場だったのだ。総額数千億円の大規模公共事業に、ゼネコンと保守政治家が群がって、税金を貪り食ったのだ。民主党小沢党首への西松建設献金もその一部だろう。被害者は国民と、この開発で殺された多くの生き物たち。壊された自然はもう戻らないだろう。

人口減少が確実視されている現在、あんな大型ダムが本当に必要だったのだろうか。贈収賄の額を大きくするために工事規模も大型化したのではないのか。

大規模開発優先政治の見直しと企業献金禁止が自然保護のためにも必要。
以上 84 号